

現場最前線の中間支援組織で働き・経営してきた講師が教える

中間支援組織人材学校「春の集中講義」

私たち中国 5 県中間支援組織連絡協議会では、変化を続ける時代と地域の中で中間支援組織としての役割を果たし続けられるように、組織の枠を超えた学びあいの場を開いてきました。2025 年度も地域・社会の状況の変化に応じて進化が求められる中間支援組織の機能や役割について、複数の事例やテーマをもとに学びを深めます。助成機関やシンクタンクなどを含む、さまざまな中間支援組織と、中間支援組織のパートナーとなる NPO、行政、企業等、多様なステークホルダーがともに学ぶ場となることを想定しています。

1. 日程：

2025 年 4 月 25 日(金) 13:30～17:30（交流会 18:00～20:00）
4 月 26 日(土) 9:30～16:30

2. 会場：

25 日(金) ハッシュタグ岡山(岡山市北区北長瀬表町 2-17-80 BRANCH 岡山北長瀬 内)
26 日(土) みはらし会議室(岡山市北区北長瀬表町 2-17-20 北長瀬未来ふれあい総合公園)

3. 対象：

- ・中間支援組織(助成機関やシンクタンクを含む)の役員(理事・監事など)・職員
- ・中間支援組織と連携・協働する NPO、行政、企業等の関係者

4. プログラム：

開催日	時間	ユニット	テーマ
4 月 25 日(金)	13:30～17:30	A	災害中間支援の現状を知り、今後の可能性について考えよう！
		B	ゼロカーボンの推進に向けた脱炭素中間支援について学ぼう！
		C	特定財源依存から脱却し、自律的・持続可能な運営基盤をつくろう！
	18:00～20:00	D	交流会(ケータリングあり)
4 月 26 日(土)	9:30～11:30	E	プログラムオフィサーが学びあう「ひたすらケーススタディ」
		F	まちづくり目線での教育へのアプローチ
	11:30～12:30	-	休憩
	12:30～14:00	G	今なら聞ける『出資』ってなに？
		H	NPO で働く人を支える取り組み①②
	14:10～15:45	I	監事の機能をもう一段階引き上げる！
	15:55～16:30	-	全員参加のクロージングセッション

5. 定員:各ユニット先着 20 名(D「交流会」のみ 60 名)

6. 参加費:1 ユニットにつき 5,000 円

※当日、現金にてお支払いいただきます。

7. 参加申込方法:以下の URL または右のコードよりお申し込みください。

URL:<https://forms.gle/eZMmV5CBek5HdYqW7>

※申し込み締め切り:2025 年 4 月 20 日(日) 21:00 まで



8. 事前課題について:お申し込み受付後に、事前課題の案内を送付いたしますので、ご協力をお願いいたします。

9. 資料準備のお願いについて:以下のユニットに参加希望で、すでに資料をお持ちの方は当日ご持参ください。

- ・ユニット C 資料 : ソシオマネジメント Vol.10「支援・評価・助成の基礎と戦略」
- ・ユニット E 資料 : ソシオマネジメント Vol.10「支援・評価・助成の基礎と戦略」
- ・ユニット I 資料 : ソシオマネジメント Vol.9「社会に挑む組織のガバナンス」

10. その他(お願いなど):

- ・お土産のご持参を大歓迎いたします。ユニット D「交流会」などで参加者に提供させていただきます。
- ・過去に作成された資料、報告書、機関誌などのご持参を大歓迎いたします。会場内に展示させていただきます。

11. 主催:

- ・中国 5 県中間支援組織連絡協議会(構成:NPO 法人ひろしま NPO センター、NPO 法人やまぐち県民ネット 21、公益財団法人ふるさと島根定住財団、公益財団法人とっとり県民活動活性化センター、NPO 法人岡山 NPO センター)
- ・中国 5 県休眠預金等活用コンソーシアム(構成:中国 5 県中間支援組織連絡協議会と同じ)
- ・EPO ちゅうごく・中国地方 ESD センター

12. 協力(五十音順):

- ・IIHOE[人と組織と地球のための国際研究所]
- ・認定特定非営利活動法人全国災害ボランティア支援団体ネットワーク(JVOAD)
- ・一般社団法人日本民間公益活動連携機構(JANPIA)
- ・特定非営利活動法人みんなの集落研究所

13. お申し込み・お問合せ先:特定非営利活動法人岡山 NPO センター(担当:高平、西川)

〒700-0822 岡山市北区表町一丁目 4-64 上之町ビル 3 階 (月～金 9:00～17:00)

TEL:086-224-0995 FAX:086-224-0997

E メール:npokayama@gmail.com URL:<http://www.npokayama.org/>

【別紙】プログラム

■4月25日(金)

時間	ユニット	内容	登壇者(敬称・法人格略)
13:30～15:30	A	「災害中間支援の現状を知り、今後の可能性について考えよう！」 全国的に認知が広がりつつある「災害中間支援組織」について、全国の動向等を学ぶとともに、参加者同士による情報・ノウハウの交換を行います。	・講師:明城 徹也(全国災害ボランティア支援団体ネットワーク(JVOAD)) ・事例紹介:伊藤 彰(やまぐち県民ネット 21) ・進行:松村 渉(中国 5 県休眠預金等活用コンソーシアム／ひろしま NPO センター)
	B	「ゼロカーボンの推進に向けた脱炭素中間支援について学ぼう！」 脱炭素を通じて目指したい地域づくりや中間支援機能について、研究と学び合いを進める講師からその可能性を学び、事例をもとに実践方法を高め合います。	・講師:平岡 俊一(滋賀県立大学 環境科学部) ・事例紹介:小俣 健三郎(おっちラボ) ・進行:松原 裕樹(EPO ちゅうごく・中国地方 ESD センター／ひろしま NPO センター)
	C	「特定財源依存から脱却し、自律的・持続可能な運営基盤をつくろう！」 今後の社会の変化にともなって求められる、中間支援組織の事業・組織や財源の在り方の進化について考えます。	・講師:川北 秀人(IIHOE[人と組織と地球のための国際研究所]) ・事例紹介:石本 貴之(全国コミュニティ財団協会) ・進行:原 早紀子(ふるさと島根定住財団)
16:00～17:30	ABC	全体共有	・発表者:ユニット ABC の登壇者 ・進行:毛利 葉(とっとり県民活動活性化センター)
18:00～20:00	D	交流会(料理・飲物を用意します)	

■4月26日(土)

時間	ユニット	内容	講師・登壇者
9:30～11:30	E	「プログラムオフィサーが学び合う『ひたすらケーススタディ』」 休眠預金事業のプログラムオフィサーのための、事例紹介と参加者間の質疑応答「だけ」を繰り返すセッション。お互いの実践から踏み込んで学び、事業・組織支援の実務を共有します。	・講師／進行:川北 秀人(IIHOE[人と組織と地球のための国際研究所]) ・事例紹介:中国 5 県休眠預金休眠預金等活用コンソーシアム
	F	「まちづくり目線での教育へのアプローチ」 まちづくりを考える中でも最終的に行きつくものの一つ「教育」。住まいと仕事と教育がなければ移住促進等もできない中で、教育や子育てに関する直接の取組を行わない中間支援としてどのようなアプローチができるのか、すべきなのか。その方策に関して、広島県と岡山県の事例を通じて考えます。	・事例紹介:山田 芳雅(合同会社ひとむすび) 小野 賢也、三村 雅彦(みんなの集落研究所) ・進行:水柿 大地(みんなの集落研究所)
11:30～12:30		休憩	
12:30～14:00	G	「今なら聞ける『出資』ってなに？」 休眠預金活用事業の新たな資金提供手法として開始された「出資事業」についての理解を深め、その有効活用について考えます。	・講師:山中 資久(日本民間公益活動連携機構(JANPIA)) ・進行:川北 秀人(IIHOE[人と組織と地球のための国際研究所])
	H	「NPO で働く人を支える取り組み①」 ～知恵を出し合いみんなでつくる支援者支援の仕組み～ 団体で抱えがちな支援者のメンタルケアやキャリア形成支援、労働環境整備に着目し、「NPO で働く人の会」の紹介と共に、働きやすい環境づくりについて考えます。	・スピーカー:志場 久起(わかやま NPO センター／NPO で働く人の会) ・進行:加藤 彰子(岡山 NPO センター)
14:00～14:10		休憩	
14:10～15:45	H	「NPO で働く人を支える取り組み②」 ～働く自分と仲間のためのケアワークショップ～ NPO で働く人を対象としたアンケートから支援者は様々なストレスにさらされている状況が見えてきました。持続可能な支援に向けて、各自・各現場で取り入れられるメンタルケアについて学びましょう。	・講師:青山 織衣(産業カウンセラー・ボランティアコーディネーター) ・進行:西村 ころこ(岡山 NPO センター)
	I	「監事の機能をもう一段階引き上げる！」 非営利組織の監事の役割を確認し、一段階上のガバナンス実現につなげます。	・講師:川北 秀人(IIHOE[人と組織と地球のための国際研究所]) ・進行:松原 裕樹(ひろしま NPO センター)
15:45～15:55		休憩	
15:55～16:30		全員参加によるクロージングセッション	